

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

自分は大学で何を学びたいかを考えた時、観光しかないと気が付きました。その観光は単にレジャーだけを指すのではなく、食育や歴史的景観や自然、生産者と消費者のつながりのことでビジネス、京都学などを同時に学ぶ必要があると考えました。これらを京都のキャンパスで総合的に学ぶことができる社会システム学科に興味を感じました。またキリスト教主義校であり、リベラルアーツ教育が理念なので教養が身につくと考えたからです。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

部活にとどまらず、地域での様々な活動に参加したことをアピールしたいと思いました。自分が得意とする文章化や培ってきたコミュニケーション能力を試したいという思いもありました。また、それらを探究し表現することで、大学でのビジョンも明確に出来るところに価値を感じました。AO方式で合格した後、入学まで準備時間があり、様々なことに時間を使うことができるのでAO方式を選択しました。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

英語イベント部に所属し、全国3位に入賞しました。結果だけでなく、そこでの活動で社会に目を向けたこと、協調性をアピールしました。その経馬験を活かし、部活引退後は、地域社会に何か貢献したいと思い、SDGsのイベントで琵琶湖の魚と地元の米を使ったおにぎりを販売したり、空き屋を活用したセサミの運営に携わりました。NPO法人主催の滋賀キャンプに参加した際のフィールドワークでの学びについてもアピールしました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕 自分の考えを相手に伝える言葉で簡潔にまとめることを常に意識しました。独り善がりな文にならないように気を付けました。顧問や担任、家族にも読んでもらい意見をもらった上で、自分が納得いくまで何度も練り直しました。例えば、進路各ノートを作って、将来何をしたいか、そのために何が必要か、興味分野等と、それにまつわるエピソードをまとめました。そうすることで、自己分析と進路探究がより深くでき、志望理由書、小論文のみならず、面接の強みにもなりました。

〔面接〕

問いに対してまず答えを述べ、後で理由を簡潔に答えることを意識しました。家族友達、先生に質問してもらい、色々なパターンを練習しました。新聞を毎日読んで自分の言葉で説明できるように心がけました。また、出願書類を要約し、これも説明できるようにしました。オープンキャンパスの際に頂ける資料を熟読しました。飾らずに、自分の言葉で落ちついて答えることを意識しました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO方式を選択されるみなさんは、自分が大学生生活をどう過ごすかを考え、それを熟成させることが大切だと思います。社会に目を向け、自分の言葉で語れば、面接では穏やかに先生方は言葉を聞いて下さいます。書類作成にあたっては、誤字脱字に気を付けて早めに取り組み、予備の用紙を用意しておくべきです。教科の勉強との両立は大変だと思いますが、どちらもしっかりと準備して下さい。応援しています!!